



九々いらず珠算に就て

吉田 松雄

八の段
 一をたて、 $8 \times 1 = 8$ を
 二をたて、 $8 \times 2 = 16$ を
 三をたて、 $8 \times 3 = 24$ を
 四をたて、 $8 \times 4 = 32$ を
 五をたて、 $8 \times 5 = 40$ を
 六をたて、 $8 \times 6 = 48$ を
 七をたて、 $8 \times 7 = 56$ を
 八をたて、 $8 \times 8 = 64$ を
 九をたて、 $8 \times 9 = 72$ を
 一をたて、 $8 \times 10 = 80$ を

九の段
 一をたて、 $9 \times 1 = 9$ を
 二をたて、 $9 \times 2 = 18$ を
 三をたて、 $9 \times 3 = 27$ を
 四をたて、 $9 \times 4 = 36$ を
 五をたて、 $9 \times 5 = 45$ を
 六をたて、 $9 \times 6 = 54$ を
 七をたて、 $9 \times 7 = 63$ を
 八をたて、 $9 \times 8 = 72$ を
 九をたて、 $9 \times 9 = 81$ を

桁より左に数へて法(除数)の位より二桁左の桁を其の答の単位とする
 例へば、 $123456789 \div 12$ の時、法四八桁は四四であるから其れより左二桁即ち首位三の桁が答の単位となる。割った答は十位となるわけである
 即ち法の頭が十位ならば答の十位は桁より二桁左が答の一位である

早 春
 栗原 北斗
 庭先から
 いつかしのんで
 やつて来た

浪人長屋

日岐 武志作

春の日は暮れて間もない
 背の口、甚吉は暗い顔をして、ひよこり戻つて来た
 「お歸り
 目見て
 また負けて来たのだと思つた
 『案外、早かつたね』
 といはうとしたが、甚吉の腹の中を見透かしたやうに思はれたので黙つてしまつた
 甚吉は火鉢の前に坐るとむつとりして煙管に煙を吐つた
 『お歸り、白い煙管を吹いた』
 『何か、まだあつたらう』と云つた
 『何か、返すお鉢を覗んで見ると、何かが分つて居るやうな気がした』
 『何か、返すお鉢を覗んで見ると、何かが分つて居るやうな気がした』
 『何か、返すお鉢を覗んで見ると、何かが分つて居るやうな気がした』

山家の冬夜

梅の古木に

山家の冬はあつらひばた
 熱いばな茶にけむたい火
 明日は雪だといひはるは
 風もる節穴にらめてる
 空はどんより灰色だ

習慣性に就て

藤松 佐嘉

習て乃木將軍が學院院長
 されてゐる。其のことで
 一日講堂において或る
 土曜日にあつた。然し
 に講堂の最中一人の學生は
 戸をあけて講堂に這入つて
 来たが不注意にもひどい音
 を立て、乃木將軍は講堂の終
 後のか遅れて入り来たつた
 學生の方に行かれたから多

行發日三十二月二
 定例一ヶ月
 行發日三十二月二
 定例一ヶ月

△伊大和利王國となる
 (一、八六)△グエ
 ルダン激戦開始(大
 正五)△臨時議事
 陸海軍士給上上海
 凱旋△日支停戦交
 議開會(昭和七)△
 總動員案採擇(同八)

来た位のことだ、顔色を
 見て、びんと威付か
 ない。幾らでもい
 苦しい。持て行、も
 ない。持て行、も
 ない。持て行、も
 ない。持て行、も

『今日、もう、行くのはお
 上しなさいよ、間の悪いと
 思はれてもさうやうな
 こと、さうさうさうに
 思はれてもさうやうに
 思はれてもさうやうに
 思はれてもさうやうに

『何か、返すお鉢を覗んで
 見ると、何かが分つて居る
 やうな気がした』
 『何か、返すお鉢を覗んで
 見ると、何かが分つて居る
 やうな気がした』
 『何か、返すお鉢を覗んで
 見ると、何かが分つて居る
 やうな気がした』



また負けて来たのだ。顔
 は先刻ほど険しくなかつた
 お鉢は、煙徳利を戸棚か
 ら出して
 『い、もう、何もなし』
 立ちふさがるお鉢を突き
 倒して甚吉は押入の中から
 ごつごつ木綿の袷一枚を
 取り出すと、ぐるぐると
 『見るあるやうな気がした』

大蔵省允許
 無盡
 前田 醫院
 院長 前田 清美
 植田町電話二二四

小兒科専門
 附内科
 志賀 醫院
 平白銀町十番地
 (前伏見町長崎)
 電話(呼出)六五〇番

富士自轉車
 指定販賣所
 フタバ商會
 平、新川町、月見橋際

お醤油は... ヤマフル
 味噌醤油
 たひら正宗
 鹽屋
 山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部)一〇番
 (本店)二七番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

良品廉賣に勝る
 商略なし
 磐城セメント特約代理店
 金物問屋
 和洋銅物
 釜屋商店
 磐城國平町五丁目
 電話九番、九九番
 振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は... の生命なり

ガス入電球、値下
 次々又値下
 十燭以下十二錢、五十燭マデ十八錢
 御電話ガアレ、届ケマス。
 大谷時計病院
 平三
 眼鏡科
 電話十九番

耳鼻科専門
 平町田町七〇番地
 入院隨意
 病室完備
 山内 醫院
 醫學士 山内 亨 吉
 電話 六九一 番

産科
 院長 長木村寅次郎
 婦科
 醫學博士 内木宗八
 外科
 藥劑師 立 番 彌 一
 平町新川町十九番地
 入院隨意
 病室完備
 木村病院
 電話一六四番

今流行のレコード
 東京音頭
 昭和音頭
 福島音頭
 萬歳音頭
 スキー行進曲
 希望の首途
 春のエレヂー
 急げ幌馬車

金光堂時計店
 電話 九一五
 番 五 九
 店 約 特

耳鼻科、食糧科、専門
 平町南町 (元真木辯士跡)
 増田 耳鼻喉科醫院
 電話 四八二番

(入院隨意)

蜂の巣
 一寸一ぱい
 元氣一ぱい
 目下包紙のレツナル二枚で
 蓄音器の當の特賣中

おいしくて滋養になる

奉祝の感激に満ち 胸を張つて萬歳を三唱

皇太子殿下の御誕 生を壽ぎ奉る宮中 慶賀の御慶し

皇太子殿下の御誕 生を壽ぎ奉る宮中 慶賀の御慶し

皇太子殿下の御誕 生を壽ぎ奉る宮中 慶賀の御慶し

皇太子殿下の御誕 生を壽ぎ奉る宮中 慶賀の御慶し

地方米價漸騰

前日(廿三)日米價

前日(廿三)日米價漸騰

前日(廿三)日米價漸騰

前日(廿三)日米價漸騰

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

小名濱校落成式

あす盛大に舉行

小名濱校落成式

あす盛大に舉行

小名濱校落成式

更生村指定申請

理想的な五年計劃樹立

更生村指定申請

理想的な五年計劃樹立

更生村指定申請

朝來各列車滿員

金比羅祭で平驛賑ふ

朝來各列車滿員

金比羅祭で平驛賑ふ

朝來各列車滿員

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

地方米價漸騰

前日(廿三)日米價

地方米價漸騰

前日(廿三)日米價

地方米價漸騰

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

小名濱校落成式

あす盛大に舉行

小名濱校落成式

あす盛大に舉行

小名濱校落成式

更生村指定申請

理想的な五年計劃樹立

更生村指定申請

理想的な五年計劃樹立

更生村指定申請

朝來各列車滿員

金比羅祭で平驛賑ふ

朝來各列車滿員

金比羅祭で平驛賑ふ

朝來各列車滿員

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

水江で十七年迄經營

魚市場町營業圓滿解決

一番割安に濟んでゐる

平第三校の教員費用

一番割安に濟んでゐる

平第三校の教員費用

一番割安に濟んでゐる

石炭拾ひに出掛け

哀れ非業の轢死

石炭拾ひに出掛け

哀れ非業の轢死

石炭拾ひに出掛け

腕づくの邪戀へ

執行猶豫の恩典

腕づくの邪戀へ

執行猶豫の恩典

腕づくの邪戀へ

乗員は小舟で避難

昨夕小名濱で船火事

乗員は小舟で避難

昨夕小名濱で船火事

乗員は小舟で避難

吉田眼科病院

院長 吉田安雄

吉田眼科病院

院長 吉田安雄

吉田眼科病院

急告

元際店員 郡信次

急告

元際店員 郡信次

急告

児童数から見た各校統計

校名	児童数	職員数
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇
山田	一、〇二五	八三〇

銘木建築木材ノ御用命

余絨田材木商店

電話 四六〇番

余絨田材木商店

電話 四六〇番

余絨田材木商店

電話 四六〇番

余絨田材木商店

電話 四六〇番